特定非営利活動法人
宇都宮まちづくり市民工房

2021（令和 3）年度通常総会（第 17 回）

資料１　2020（令和 2）年度事業報告　　・・・ｐ

資料４　2021（令和 3）年度事業計画（案）　・・・ｐ

総会

日時：2021 年 5 月 27 日（木）18：30～

場所：宇都宮市まちづくりセンター

特定非営利活動法人
宇都宮まちづくり市民工房

Ⅱ．2020（令和 2）年度　宇都宮まちづくり市民工房　事業報告

2020 年度通常総会で承認された 2020 年度事業は以下の通りである。下線は未実施。

Ⅱ－１． コミュニティ 活性化事業の支援 定款⑤	**１）日光市三依交流プロジェクト** （１）耕作放棄地（清水原）の活用 （２）第 11 回三依杯雪合戦 **２）“とちぎの農村”関係人口創出・拡大事業** **～農村ファン活躍支援モデル創出事業～**
Ⅱ－２． 市民活動の人材 育成 定款⑥	**１）非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化** （１）NPO 法人事務力検定初級（入門手続き編）／ NPO 法人事務力アップセミナー （２）オンライン会議／WEB セミナー講座 （３）赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国 キャンペーン助成事業 （４）NPO マネジメント支援を担う人材育成事業 （５）会計税務支援の専門家ネットワークづくり **２）NPO 組織の実務向上事業** ・実務担当者向け研修会の定期開催 **３）NPO への伴走支援事業**
Ⅱ－３． 市民活動に関する 調査研究および政 策提言 定款④	**１）共助社会研究会** （１）共助社会勉強会 2021 地域を「見える化」して住民自治を一歩前に進めるために ～地域の課題をワガコト化してとらえ直そう！～ （２）新しい地域コミュニティの創出 （３）共生を基盤とした住民活躍の場の創出 **２）コミュニティビジネス講座** ・「通りのイノベーション 2009→2019」 **３）市民工房サロン**
Ⅱ－４． まちづくり支援 定款⑦	**１）宇都宮市まちづくりセンターの管理運営**

Ⅱ－１．コミュニティ活性化事業の支援（定款⑤）

１）日光市三依交流プロジェクト　　2007 年 12 月にスタートして 13 年目

＜事業の対象とねらい＞

・対象：自然と共存した暮らしや農業に関心のある都市部住民および三依地区の住民

・ねらい：①農作業を通した自然との関わり方、②地域における支え合いや近所付き合いの現場を学びながら、都市部の地域課題について考える機会を提供する。

＜実現したこと＞

（１）　遊休地（清水原）の活用

電気柵完備の清水原農場を使わせていただいている。コロナの影響もあり、活動期間は 8 月から 11 月と例年より短かった。三依での作業日は 11 日、延べ 12 名（2019 年度は 15 日、18 名）で、大根栽培に取り組んだ。いつもより病気の被害が多く、収穫は約 130 本であった。

★農産物に関する収支

日光市の事業枠として、大根の種子代や除草薬代などを自治会で補助していただいたいおかげで、ほとんど支出がなかった。

（収入：寄付 3,508 円、支出：草刈り機の修理代 4,015 円、収支差額 - 507 円）

（２）　第 11 回三依杯雪合戦　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2021 年 2 月 7 日（日）開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

★寄付

2018 年度に団体運営費として、21 団体・個人から 81,000 円のご寄付をお預かりしている。

（３）　雪下ろしのお手伝い

雪が降らなかったため、要請なし。

＜今後の活動について＞

暖冬続きという自然環境の変化を受けて、前年度は「イベンド頼みではなく、プロジェクトの原点である『現地の方々との交流』に立ち返った活動」を目指す予定であったが、コロナ禍で断念せざるを得なかった。今年度も引き続きコロナの影響が懸念されるため、交流事業の実施には慎重にならざるを得ない。農村ファン事業との相乗効果を念頭に、清水原での地道な活動を続けながら、事業を継続していく。

2）“とちぎの農村”関係人口創出・拡大事業
～農村ファン活躍支援モデル創出事業～　栃木県委託事業　1,496,000 円

＜事業の対象とねらい＞

・対象：A：県内中山間地において、自立的に地域の活性化に取り組む団体。
　　B：中山間地での農林業の活動に関心のある人々＝農村ファン（企業・団体、大学、専門家など多様な人材）

・ねらい：相談対応を通して、A の団体を発掘し、その活動の支援を行うために、B 農村ファンが活躍する場を創出することで、A と B の協働による中山間地の自律的な活性化に結び付け、継続的な活動とするために関係人口を拡大する。

＜実現したこと＞

①相談対応

青空プロジェクト THE　DAY（那須塩原市中塩原）、Shioya S.I.P.(Social Innovation Project)（塩谷町）からの相談受付、および加蘇ふるさと協議会（鹿沼市）との意見交換会を実施した。

②モデル地域

上記の青空プロジェクト THE　DAY と Shioya　S.I.P.をモデル地区に選定し、活動を開始した。ただ、後者は計画立案後活動が休止となったため、来年度の対象からはずれることになった。

③支援活動

・THE　DAY の組織運営支援：任意法人として設立総会手続き等の支援を行った。

・活動広報支援：地域住民への説明資料および団体の活動の明確化を目的に、リーフレットを作成した。250 部のうち 150 部を THE　DAY に届けたところ、追加印刷の要望があり、2021 年度事業として発注を検討する。

・山道の整備：中塩原の山道をマウンテンバークコースとして整備し、野生動物による獣害パトロールや自然環境の学習の場として活用した。11 月 4 日、28 日、3 月 1 日の 3 回、実施し、8 名の農村ファンが参加した。

＜今後の活動：委託事業を継続＞

2021 年度も引き続き、中塩原での活動支援を行うと同時に、さらに 2 つのモデル地区を選定する予定である。

Ⅱ－２．市民活動の人材育成（定款⑥）

１）非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化

（１）　NPO 法人事務力検定初級（入門手続き編）／NPO 法人事務力アップセミナー

＜事業の対象とねらい＞

・対　象：NPO 法人の事務担当者、これから NPO 法人を設立しようと考えている方など
・ねらい：NPO 法人の組織運営に携わる者が、必要な事務手続きの全体像とその詳細を正確に把握し事務能力を向上させることを目的とする。

＜実施したこと＞

主　催：全国 NPO 事務支援カンファレンス
日　時：2021 年 2 月 7 日（日）
　　セミナー10：00～15：30／
　　検定 15：45～17：15
会　場：栃木県会場　こらぼワーク本部
　　（企業組合とちぎ労働福祉事業団）
　　ほかに、岡山、佐賀、千葉の会場とつながってのオンラインセミナー開催
参加者：栃木会場からはセミナー3 名、うち 2 名が検定受講（共に合格）
　セミナーは LIVE 配信(生中継)で実施、検定は実地で行なった。なお、講師の一人として土崎常務理事（全国 NPO 事務支援カンファレンス認定講師）が労務の講師を担当しており、1 月 29 日（金）にも第 1 回のオンラインセミナーを実施している。
参加費：7,000 円（2,500 円×2 名、2,000 円×1 名）

（２）　オンライン会議・WEB セミナー講座

＜事業の対象とねらい＞

・対　象：非営利活動団体の事務局スタッフ
・ねらい：オンライン会議・WEB セミナーを選択肢の一つとして活用し、既存の「つながり」を絶やすことなく、さらに新しい「つながり」を作り、今後の活動の幅を広げること

＜事業内容＞

オンラインツールとして「Zoom」を取り上げ、「オンライン会議の手引き」「オンライン会議のやり方・活用の仕方教えます」を作成した。来年度から実施予定の講座広報として活用する。

★栃木県社協職員研修

日時：2020 年 12 月 2 日（水）13：30～16：30

会場：とちぎ福祉プラザ

謝金：15,000 円

（３）　赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン助成交付事業

①第 3 回「コロナ禍における市民活動を巡る実態調査」10 月 1 日～12 月 31 日　10 万円

・県内の支援組織 4 か所への聞き取りの結果、「新しい日常」下での活動のシフトに苦慮している団体が多いことが明らかになった。

・報告書「栃木の市民活動とその支援はコロナ禍でどのように変容したのか
～コロナ禍における市民活動を巡る実態調査報告書～」
200 部印刷　配布先①50 部：市民工房会員（総会案内時）、②県内社協関連（県社協に送付依頼、Zoom 手引き＆講師チラシ、農村ファンチラシを同封）、③県内支援団体（市民工房から郵送）。

②第 4 回「オンラインを活用した情報発信（動画配信）の実践的プログラム開発」

1 月 20 日～3 月 31 日　10 万円

・第 3 回調査では特に、オンラインの活用への対応が困難な団体が多いことがわかった。こうした団体への支援を行うにあたり、市民工房では「オンライン会議の手引き」の作成、「オンライン会議／WEB セミナー講座」の開催などを行ってきた。今回の助成では、動画配信を実施する上で必要な機器やアプリケーションといった周辺環境を整え、実践することにより、具体的な支援を行うノウハウやプログラムを開発することを目的とした。

★15 周年記念インタビュー「5 回の振り返り」　3 月 1 日 FB ライブ配信
https://fb.watch/41fJiG_3fq/　エンゲージ 159 回

２）NPO 組織の実務向上事業

（１）　NPO 実務担当者向け研修会の定期開催

＜事業の対象とねらい＞

・対　象：県内 NPO の会計・労務などの実務担当者

・ねらい：団体を管理運営する上で必要不可欠な実務に関する具体的なノウハウを学び、円滑な運営を実践する。

＜実施したこと＞

第１回　「会計王使い方セミナー」

昨年に引き続き、こらぼ経営労務支援センターと共催で、Zoom によるオンラインとリアルの併用（講座はいずれもオンライン）で実施した。

共　催：こらぼ経営労務支援センター
日　時：2020 年 8 月 20 日（木）
　　13：30～15：00
講　師：講義　田中義博氏　／　実習　ソリマチ（株）三井孝彦氏
事務局：こらぼワーク本部（企業組合とちぎ労働福祉事業団）
参加費：無料
参加者：デモソフト受講者　4 名　／　オンライン受講者　4 名

第２回　「経験者が押さえておきたい年末調整準備」

主　催：こらぼ経営労務支援センター
共　催：市民工房
日　時：2020 年 10 月 27 日（木）13：30～15：30
場　所：こらぼワーク本部（企業組合とちぎ労働福祉事業団）
参加者：市内保育園、NPO 法人事務担当者など 10 名（まちぴあからもスタッフ 1 名が参加）
テキストをもとに年末調整の準備、各種控除・税額の計算などについての講義に加え、実際の申告書類に記入する実践にも取り組み、理解を深めた。

Ⅱ－３．市民活動に関する調査研究および政策提言　（定款④）

１）　共助社会研究会

（１）共助社会研究会　勉強会 2021　　栃木県コミュニティ協会助成　50,000 円

＜事業のねらいと対象＞

ねらい：　複雑化する地域の課題解決には、地域住民が地域の現状を理解した上で、課題をガワコト化することが重要となる。本講座では、そのプロセスとして、①国勢調査や住民アンケートなどにより、地域の現状と未来を数値化する、②これらの数値が暮らしにどぅ影響するのかを提示する、を学ぶことを、目的とする。
対象：地域振興担当の自治体職員、地域おこし協力隊、地縁組織役員、NPO スタッフなど

＜実施したこと＞

以下のオンラインシンポジウムを開催した。

地域を「見える化」して住民自治を一歩前に進めるために
～地域の課題をワガコト化してとらえ直そう！～

日　時：2020 年 7 月 31 日（金）
13：30～15：30
講　師：齋藤主税氏（NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長）
内　容：60 分講義、その後質疑応答
事務局：武蔵野工務店今泉ベース
参加費：1,500 円／人
参加者：18 名（スタッフ 5 名含む）
収　支：収入：69,500 円（参加費 19,500 円、県コミ協 50,000 円）
支出：124,400 円　　収支差額－54,900 円

（2）　CB フォーラム「通りのイノベーション 2009→2019」

＜事業の対象とねらい＞

・対象：事業経営を基礎にして地域の課題の解決に取り組む人々
・地域課題の解決に取り組んでいる先駆者の影響を受けながら次の世代が育っている現状を事例をもとに紹介し、さらなる人材の発掘を目指す。

＜実施したこと＞

起業家による通り（地域）の活性化をテーマに、2009 年から 2019 年の 10 年間の取り組みを振り返るトークセッションを開催した。

日　時：2020 年 7 月 4 日（土）
13:30～15:30

場　所：饗茶庵（鹿沼市）から
　　YouTubeLive　配信
コーディネーター：陣内雄次氏
ゲスト：有限会社風間総合ｻｰﾋﾞｽ代表
　　風間教司氏
内　容：13:30～13:35　ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ
　　13:35～14:25　ﾄｰｸｾｯｼｮﾝ
　　14:40～15:25　質問タイム
参加費：1,500 円（事前申込）
参加者：13 名（スタッフ 3 名含む）
コロナ禍における個人事業の展開、中山間地での地域活性化、これから事業を始める人たちへのアドバイス、など多岐にわたるお話を聞くことができた。また、当日聴けなかった申込者のために、7 月末まで見逃し配信を行なった。
収　支：　収入：・参加費収入（Peatix）　15,720 円　　・寄付 10,000 円
　　支出：・謝金　40,000 円
　　収支差額：－14,280 円

（3）　市民工房サロン

＜事業の対象とねらい＞

・対象：会員（会員間の親睦交流も兼ねる）、非会員（新規会員の獲得に向けた布石とする）いずれでも構わない。
・ねらい：市民主体のまちづくりを使命とする市民工房自体が、地域社会が抱える様々な課題の現状を認識し、理解を深めることが大切であることから、定期的な勉強会を実施する。

＜未実施＞

★第 4 回　テーマ「多文化共生社会について」　を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、2020 年度は開催しなかった。

その他

15 周年記念事業「15 人と 150 分でふりかえる市民工房（私たち）の 15 年」

市民工房の 15 周年記念を振り返るために、ゆかりのある 15 人とのインタビューを YouTube で配信する。

★第 0 回　9 月 7 日　YouTube 配信
https://www.youtube.com/watch?v=SO6P_StZ1kc&t=49s　　視聴回数 97 回
★第 1 回　ゲスト陣内氏　9 月 14 日収録、29 日配信
https://www.youtube.com/watch?v=472lJDhbe7k&t=4s　　視聴回数 86 回

★第 2 回　ゲスト岩井氏　10 月 13 日収録、19 日 YouTube 配信

https://www.youtube.com/watch?v=N1c1mgoN4Vc&t=18s　　視聴回数 112 回

★第 3 回　ゲスト平出氏　10 月 27 日収録、11 月 9 日 YouTube 配信

https://www.youtube.com/watch?v=8O87TAWHcTI&t=67s　　視聴回数 38 回

★第 4 回　ゲスト小針協子氏（おやまーる事務局長）11 月 20 日収録、11 月 30 日配信

https://www.youtube.com/watch?v=EH-hf5BNhWk　　視聴回数 43 回

★第 5 回　ゲスト中村長司・育子夫妻　12 月 21 日収録、12 月 29 日配信

#05 これまち大学、12 年後の後日談。 - YouTube　　視聴回数 32 回

★特別編　5 回の振り返り　3 月 1 日 FB ライブ配信

https://fb.watch/41fJiG_3fq/　エンゲージ 159 回

★第 6 回　予定　ゲスト八木氏　3 月 16 日収録、4 月 3 日配信

#06 宇都宮の災害ボランティア進化論。 - YouTube　　視聴回数 24 回

宇都宮市
まちづくりセンター
まちぴあ

Ⅱ－４．まちづくり支援（定款⑦）

１）宇都宮市まちづくりセンターまちぴあの管理運営
～2020（令和 2）年度事業報告書　概要版　～

１．活動場所等の提供　　および　　２．ネットワーキング

１）2020（令和２）年度の利用状況および情報発信　　（　）内は前年度

利用者	相談	研修室利用	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ利用
893 人/月 （1,983 人/月）	34 件/月 （36 件/月）	954 団体/年：占有率 46%＊ （1,590 団体：占有率 73%）	302 回/年 （434 回）
HP ｱｸｾｽ	ブログｱｸｾｽ	団体登録（累計）	情報誌
3,888 件/月 （3,935 件/月）	39,469 件/月 （43,204 件/月）	238 団体：新規.28、継続 210 （252 団体：新規 33、継続 219）	年 4 回 3,000 部
貸しオフィス		ロッカー	
13 団体が 13 区画に入居		大 11（残 1）　・小 33（残 15）	

＊キャンセル前 68%　　他に情報展示室利用団体　33 団体（112 団体）

２）交流事業の企画運営　（下線は 2020 年度新規事業）

①まちぴあまつり 2020（ぷちまつり） 10 月 11 日（日）感染症防止のため規模縮小して実施。学生ボランティア等が企画したハロウィンイベントを開催した。40 名参加。

②フェスタｍｙ宇都宮「まちぴあひろば」 2020 年 5 月 19 日（日）城址公園内を会場に 12 団体が参加予定だったが、感染拡大防止の影響があり中止。

③あそび初め　1 月 24 日（日）第 9 回目を予定していたが、感染症の影響により現地開催中止。シニア世代の活動団体を中心に手作り玩具を地域に配布する形式で実施した。配布数：100 個。

④まちぴあオフィス意見交換会　貸しオフィス入居団体間の情報交換会。年 4 回計画し、緊急事態宣言中等で現地参集できない場合には、メール等での情報提供を行った。

⑤まちぴあ協力事業　取材・広報等の協力申請に加え感染症影響下でも活動する団体紹介ブログ記事「コロナに負けるな！登録団体」の作成と発信を行った。掲載：36 団体。

３）活動主体間の相互理解促進のための企画

①ボランティア体験プログラム「釜川コケ落とし大作戦」　6 回実施し、延べ 62 人が参加した。屋外実施かつ小規模なためコロナ下における貴重な体験機会となった。

②ボランティア体験プログラム「クリーン＆ウオーク」　4 回実施し、延べ 51 人が参加した。コロナ下であっても気軽に参加できるボランティアとなった。

③ボランティア体験プログラム「NPO 編」　高校生等若者を対象にした、活動団体との交流及び参加促進事業を行った。7 月 11 日にオンラインにて交流会を開催した。

④ボランティア体験プログラム「地域編」　高校生等若者を対象に、今泉地区の地縁組織の行事に参加する体験事業を予定していたが、夏祭り等年間事業が感染症の影響で中止となったため、「まちぴあぷちまつり」で、学生発のハロウィンイベント実施に変更した。

⑤まちぴあ勉強会　まちづくり活動に関心のある市民や団体に、活動に役立つ学びを提供することを目的に年 6 回開催し、47 人が参加した。

３．データバンク・調査研究

１）データバンク「マッチングシステム」全登録団体の情報を掲載、さらに 105 団体からの活動報告書を「まちぴあアーカイブ　団体活動報告」に掲載。

２）団体活動取材　登録団体及びまちづくり団体の取材を 45 件（前年度：22 件）行い、ブログや情報誌で情報を発信している。

３）調査研究事業（予備調査）　連携を大テーマ、防災と多文化共生を具体的な調査テーマとして市内外の事例調査等を行っている。今年度は予備調査を行い、次年度シンポジウム等の機会を設け発信する。

４．NPO 法人等設立・運営支援

１）相談対応　月平均 36 件（年間 413 件）の相談があった。

２）宇都宮市コロナ対応助成への対応　5 月～11 月の期間中に行われた、市内の市民活動団体向けの助成制度について団体への情報発信を行った。

５．事業支援

１）宇都宮市市民活動助成金事業　審査会（6 月 6 日：10 団体へ交付決定）運営を支援し、1 月 26 日にはオンラインを活用して説明会を行った。（3 名参加）

２）専門家相談「持続化給付金について」　感染症影響下における組織運営の相談会を 11 月 5 日に実施した。2 団体 2 名が参加した。

３）NPO 等を対象にした助成金説明会　コロナ下における活動助成の説明会を 5 月 25 日（赤い羽根緊急助成）に、とちぎコープ及び花王ハートポケット助成の説明会を 9 月 25 日にオンラインを併用して実施した。

１）連続講座「NPO・ボランティア事務局お助け講座」　法人設立、会計、広報、資金調達の 4 回講座をオンライン併用で 11 月中に開催し、延べ 60 人が受講した。

６．人材育成

１）プチ起業立ち上げ講座　趣味や特技を活かして何かを始めたいと思う人を後押しするために、3 回講座を開催（講話と事例紹介）し、延べ 26 人が受講した。

２）まちづくり応援事業　市のウェブ版ボランティアマッチング事業の活用を促進するための相談対応を実施した。

３）外部組織との連携　市民工房及び市内事業者と連携し「Zoom 会議開催の手引き」を作成し、公共機関や自治会等に配布した。

Ⅱ－5．その他

１．市民工房推薦による外部委員

１）宇都宮市社会福祉協議会「地域福祉事業運営委員会」委員（継続）
　土崎雄祐　理事　　任期　令和元年 6 月～令和 3 年 6 月定時評議委員会
２）日光市高齢化集落地域づくりアドバイザー（継続）
　安藤正知　理事長　任期　令和元年 5 月 15 日～令和 3 年 3 月 31 日
３）宇都宮市地域情報化推進懇談会（継続）
　小倉克洋　理事　　任期　令和 2 年 5 月 8 日～令和 4 年 5 月 7 日
４）とちぎ協働アドバイザー（継続）
　安藤正知　理事長　任期　令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
　（岩井理事、土崎理事は別団体で就任）
５）栃木県ボランティア活動振興センター運営委員会委員（継続）
　小倉克洋　理事　　任期　令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
６）小山市市民活動センター運営調整会議（2020 年度から新規）
　安藤正知　理事長　任期　令和 2 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
７）とちぎコープ生活協同組合理事（2020 年度から新規）
　安藤正知　理事長　　任期　令和 2 年 6 月 11 日～令和 4 年 6 月 10 日
８）宇都宮市ブランド推進協議会（継続）
　安藤正知　理事長　　任期　定めなし　　令和 3 年 3 月 31 日退任
９）宇都宮市行政経営懇談会
　岩井俊宗　理事　　任期　令和 2 年委嘱日～令和 4 年 3 月 31 日
１０）栃木県行政改革推進委員会
　安藤正知　理事長　　任期　平成 30 年委嘱日～令和 3 年 3 月 31 日
１１）宇都宮市男女共同参画審議会
　安藤正知　理事長　　任期　令和元年 7 月 31 日～令和 3 年 6 月 30 日
１２）宇都宮大学地域デザイン科学部教育連携専門委員会
　安藤正知　理事長　　任期　令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
１３）宇都宮市民遺産会議委員
　安藤正知　理事長　　任期　令和 2 年 10 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

Ⅲ．市民工房の組織運営

Ⅲ－１．会員数

2021 年 3 月 31 日現在、個人正会員　35 名、 団体正会員 4 団体、
　　個人賛助会員 14 名、 団体賛助会員 6 団体

Ⅲ－２．第二期認定 NPO 法人

更新期間：2018 年 10 月 25 日から 2023 年 10 月 24 日まで。

Ⅲ－３．理事会の開催

2020 年度の理事会を下記の通り 5 回開催した。場所はいずれも、宇都宮市まちづくりセンター。

・2020 年度第 1 回（通算第 80 回）理事会　オンライン併用
　2020 年 4 月 27 日（木）18：30～20：00　出席者 10 名
　2020 年度通常総会上程議案の審議

・第 2 回（第 81 回）理事会　　オンライン併用
　7 月 6 日（月）18：30～20：00　　出席者 10 名
　2020 年度事業進捗
　市民工房の組織運営及びプロジェクト実施におけるツール活用について

・第 3 回（第 82 回）理事会　　オンライン併用
　9 月 23 日（水）18：30～20：15　出席者 10 名
　2020 年度事業進捗及び予算執行状況
　2020 年度下半期事業案の提案または検討

・第 4 回（第 83 回）理事会　　オンライン併用
　11 月 6 日（金）17：00～17：15　出席者 10 名
　主たる事務所移転の件および臨時総会開催の件

・第 5 回（第 84 回）理事会　　オンライン併用
　2021 年 3 月 8 日（水）18：30～20：25
　2020 年度事業進捗及び予算執行状況
　2021 年度通常総会上程議案の審議

Ⅲ－４．2020 年度総会の開催

2020 年度　第 16 回通常総会を下記開催した。
日時：2020 年 5 月 28 日（木）18：30～20：00　オンライン併用
場所：宇都宮市まちづくりセンター1F　情報展示スペース
出席者：正会員　個人 36 名・団体 4 団体中
　　出席者 23 名・団体（うちオンライン出席 2 名、委任 17 名・団体）
議題：　（１）2019（令和元）年度事業報告および決算報告
　　（２）監査報告

（３）2020（令和 2）年度事業計画（案）および予算（案）
（４）登記申請書類の字句の修正の委任について

2020 年度は、事務所移転に伴う定款変更のため、臨時総会を下記開催した。
日時：2020 年 11 月 21 日（土）14：00～14：15　オンライン併用
場所：宇都宮市まちづくりセンター1F　情報展示スペース
出席者：正会員　個人 38 名・団体 4 団体中
　　出席者 23 名・団体（うちオンライン出席 2 名、委任 17 名・団体）
議題：　（１）事務所移転に伴う定款変更の件
　　（２）登記申請書類の字句の修正の委任について

Ⅳ．まとめ

＜2020 年度を振り返って＞

2020（令和 2）年度は、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大するという大きな危機に見舞われた年となった。コロナ禍の影響は社会全体におよび、市民活動も「人とのつながり」を否定される苦しい状況に陥った。市民工房も、先進事例の視察など予定していた事業の中止を余儀なくされたが、一方で、オンラインを活用したセミナーの開催など、今後コロナの感染が終息したのちでも、活動の幅を広げるための基礎を築くことができた。また、パンデミック下での中間支援組織の役割を模索する 1 年ともなった。赤い羽根の緊急助成を受けての聞き取り調査などを通して、団体が孤立しないための情報提供やオンラインという技術を活用したつながりの必要性といった課題を認識することができた。今後は、これらの課題解決に向けた具体的な行動を起こすことが求められる。

昨年度の報告でも触れたが、気候変動や未知の病原菌の流行などは、残念ながら今後も継続する。これらの危機を新しい社会の在り方を考える機会と捉えて、当法人の役割を創り出していきたい。

Ⅴ．参考資料

Ⅴ－１．会員数と寄付者の推移

★会員：

2013 年度末 ＜正会員＞ 個人 44 人、 団体 6 ＜賛助会員＞ 個人 5 人
2014 年度末 ＜正会員＞ 個人 43 人、 団体 6 ＜賛助会員＞ 個人 5 人、 団体 4
2015 年度末 ＜正会員＞ 個人 39 人、 団体 6 ＜賛助会員＞ 個人 6 人、 団体 4
2016 年度末 ＜正会員＞ 個人 36 人、 団体 5 ＜賛助会員＞ 個人 7 人、 団体 5
2017 年度末 ＜正会員＞ 個人 41 人、 団体 6 ＜賛助会員＞ 個人 7 人、 団体 5
2018 年度末 ＜正会員＞ 個人 41 人、 団体 6 ＜賛助会員＞ 個人 7 人、 団体 5
2019 年度末 ＜正会員＞ 個人 40 人、 団体 5 ＜賛助会員＞ 個人 10 人、 団体 6
2020 年度末 ＜正会員＞ 個人 35 人、 団体 4 ＜賛助会員＞ 個人 14 人、 団体 6

表Ⅴ－１．受け取り寄付額と寄付者数の推移（前受寄付金計上前）

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	実績	実績	実績	実績	実績
寄付額（賛助込み）	336,226 円	269,878 円	357,788 円	199,186 円	320,374 円
寄付者総数（賛助込み）	69 人・団体	29 人・団体	42 人・団体	37 人・団体	29 人・団体
うち 3,000 円以上*1)	26 人・団体	24 人・団体	26 人・団体	22 人・団体	20 人・団体
寄　付　内　訳					
①一般寄付	233,173 円	103,776 円	62,878 円	66,366 円	266,374 円
3,000 円以上*2)	3 人	4 人	9 人	9 人	12 人
②三依プロジェクト	115,000 円	61,950 円	88,000 円		
3,000 円以上*2)	12 人	10 人	15 人		
③ひろのカフェ	98,626 円	56,500 円			
3,000 円以上*2)	2 人	1 人			
④子ども食堂		98,000 円	15,000 円	5,000 円	
3,000 円以上*2)		9 人	2 人	1 人	
⑤地域福祉			50,000 円		
3,000 円以上*2)			0 人		
⑥水害復興					5,000 円
3,000 円以上*2)					1 人
⑥賛助会員	40,000 円	16,000 円	54,000 円	39,000 円	49,000 円
賛助会員数*3)	9 人・団体	10 人・団体	13 人・団体	8 人・団体	13 人・団体
3,000 円以上*2)	7 人・団体	2 人・団体	8 人・団体	8 人・団体	9 人・団体

＊１）賛助込み、ただし理事を除く　＊２）理事除く、重複あり　＊３）会費支払者数

表Ｖ－２．センター運営以外の事業内訳推移　助成金事業　下線は委託事業

2006（H18）年度	2007（H19）年度	2008（H20）年度
栃木県委託事業 団塊の世代の調査研究	栃木県委託事業 これからまちづくり大学	栃木県委託事業 これからまちづくり大学
栃木県委託事業 NPO・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ理解促進講座	栃木県委託事業 地域の実情と課題を探る	ﾄﾖﾀｳｯﾄﾞﾕｰﾎｰﾑ株式会社 みずほの緑の郷
	協働コーディネーター講座	中央ろうきん助成 姿川地区の将来ビジョン
	厚生労働省委託事業 特別な休暇制度普及促進事業	国土交通省委託事業 三依交流プロジェクト
		協働コーディネーター講座
2009（H21）年度	**2010（H22）年度**	**2011（H23）年度**
栃木県委託事業 これからまちづくり大学	独立行政法人福祉医療機構 地域の担い手育成	栃木県委託事業 地域支え合い体制づくり
ﾄﾖﾀｳｯﾄﾞﾕｰﾎｰﾑ株式会社 みずほの緑の郷	ﾄﾖﾀｳｯﾄﾞﾕｰﾎｰﾑ株式会社 みずほの緑の郷	協働コーディネーター講座
国土交通省委託事業 三依交流プロジェクト	JT 青少年の育成に関する助成「秘密基地」	三依交流プロジェクト
全国商店街支援センター 起業研修事業	協働コーディネーター講座	震災復興支援活動
協働コーディネーター講座	三依交流プロジェクト	
ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ研究所委託事業 CSR 大賞・セミナー		
2012（H24）年度	**2013（H25）年度**	**2014（H26）年度**
栃木県地域版ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ事業 （市民研究員事業）	三依交流プロジェクト 財源：売上と寄付	三依交流プロジェクト 財源：売上と寄付
栃木県地域版ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ事業 （環境共生）	震災復興支援事業 財源：寄付、補助金	ひろのカフェ in 関船 財源：寄付、補助金
三依交流プロジェクト 財源：売上と寄付	**市民研究員事業** 財源：なし	**共助社会研究会** 財源：委託費
震災復興支援事業 財源：寄付、補助金	**CB 起業講座** 財源：参加費	CB 起業講座 財源：委託費
空き家再生プロジェクト	空き家再生プロジェクト ⇒LLP 設立へ	NPO 法人事務力検定ｾﾐﾅｰ 財源：委託費

表Ｖ－２．センター運営以外の事業内訳推移（２）

2015（H27）年度	2016（H28）年度	2017 （H29）年度
三依交流プロジェクト 財源：売り上げと寄付	三依交流プロジェクト 財源：売り上げと寄付	三依交流プロジェクト 財源：売り上げと寄付
ひろのカフェ in 関船 財源：寄付	共助社会研究会 財源：寄付	共助社会研究会 財源：寄付と助成金 （トヨタ財団調べる助成）
共助社会研究会 財源：寄付、補助金	CB 起業講座 財源：委託費	CB 起業講座 財源：委託費
CB 起業講座 財源：委託費		コミュニティボランティア体験事業　財源：委託費
2018（H30）年度	**2019（R 元）年度**	
三依交流プロジェクト 財源：売り上げと寄付	三依交流プロジェクト 財源：売り上げと寄付	
NPO の組織基盤強化 財源：助成金、事業収入	NPO の組織基盤強化 財源：事業収入	
中間支援センター視察 財源：自主事業	共助社会研究会（サロン） 財源：事業収入	
	水害復興支援 財源：助成金	

特定非営利活動法人
宇都宮まちづくり市民工房

表Ｖ－３．収入内訳　　＊１：2011 年度以降、賛助会員費は寄付として計算。

宇都宮サポセン	2006（H18）年度		2007（H19）年度		2008（H20）年度	
センター委託費	12,128,550	92.9%	12,908,700	87.2%	13,628,000	70.2%
その他の事業収入	878,200	6.7%	1,731,436	11.7%	5,603,700	28.9%
会費	33,000	0.3%	81,000	0.5%	89,000	0.5%
寄付	3,800	0.0%	83,392	0.6%	92,940	0.5%
雑収入	13,233	0.1%	1,682	0.1%	1,938	0.0%
合計	13,056,783		14,806,210		19,415,578	
宇都宮サポセン	2009（H21）年度		2010（H22）年度		2011（H23）年度	
センター委託費	15,015,719	65.1%	15,015,000	76.9%	16,743,400	89.0%
その他の事業収入	6,475,677	28.1%	3,348,098	17.2%	1,230,032	6.6%

会費	90,000	0.4%	110,000	0.6%	93,000	0.7%
寄付	1,108,671	4.9%	992,841	5.1%	712,646	3.5%
雑収入	390,430	1.7%	51,372	0.2%	32,966	0.1%
合計	23,080,497		19,517,311		18,812,044	
まちぴあ	2012（H24）年度		2013（H25）年度		2014（H26）年度	
ｾﾝﾀｰ指定管理費	24,000,000	86.9%	24,300,000	95.4%	25,405,714	95.5%
その他の事業収入	2,951,639	10.7%	532,826	2.1%	588,297	2.2%
会費	150,000	0.7%	113,000	0.5%	124,000	0.5%
寄付＊1	429,629	1.4%	479,328	1.8%	486,799	1.8%
雑収入	96,070	0.3%	56,230	0.2%	1,217	0.0%
合計	27,627,438		25,481,381		26,606,027	
まちぴあ	2015（H27）年度		2016（H28）年度		2017（H29）年度	
ｾﾝﾀｰ指定管理費	27,344,860	94.5%	27,350,000	97.1%	27,830,000	92.6%
その他の事業収入	701,002	2.4%	422,216	1.5%	1,744,191	5.8%
会費	140,000	0.5%	113,000	0.4%	133,000	0.4%
寄付＊1	715,231	2.5%	269,878	1.0%	357,788	1.2%
雑収入	937	0.0%	48	0.0%	41	0.0%
合計	28,902,030		28,155,142		30,065,020	
まちぴあ	2018（H30）年度		2019（R 元）年度			
ｾﾝﾀｰ指定管理費	27,379,458	98.0%	28,038,862	97.2%		
その他の事業収入	253,157	0.9%	372,687	1.3%		
会費	102,000	0.4%	121,000	0.4%		
寄付＊1	209,186	0.7%	320,374	1.1%		
雑収入	42	0.0%	43	0.0%		
合計	27,943,843		28,852,966			